

あいちの印刷

2

2014.2
No.507



京都美山の冬景色

も く じ

巻頭言「動いたもの勝ち」 ／副理事長 鳥原 久資	3
愛印工・印刷と関連業界新年互礼会	4
記念講演で鳥原副理事長講師を務める	6
全印工連 「『印刷道』～ソリューション ・プロバイダーへの深化～」発行	6
高井昭弘氏:「黄綬褒章」受章祝賀会	8
身近な催し物のお知らせ	9
日本印刷産業機械工業会 「定期メンテナンスのおすすめ」	10
全印工連 「第7回MUDコンペティション」入賞作品発表	13
小規模企業者対象の設備投資助成制度	14
第50回光文堂「新春機材展」成功裡に閉幕 ／編集だより	14

巻頭言

「動いたもの勝ち」

副理事長 鳥原 久資

新年互礼会の前の講演会で「印刷道」についての講師を務めさせていただきました。「印刷道」というタイトルに込められた思いは、先人たちが築いてきた印刷というものに自負があります。「武士道」という言葉があるように、日本には極めていくものに対して「〇〇道」と呼ぶことがあります。我々の提供する印刷は生活や文化を支えていく情報発信業としての自負があります。そうした意味を含めて「印刷道」と名付けられています。

前回進めてきた業態変革と何が違うのか…という指摘に対して、産業戦略デザイン室の臼田委員長は「何も変わらない」と言います。業態変革は印刷を「モノ」としてとらえて歩むべき姿を提示していますが、今回は「コト」としてとらえています。

印刷業に限らず「良いものを、数多く、安く売る」ことが20世紀型のビジネスモデルでした。しかし人口減少によりこうしたビジネスモデルで売り上げを上げることができなくなりました。お客様が欲しいのは印刷物ではありません。「印刷物を通してお客様が何を実現したいか」を真剣に考え行動していくことが我々に求められているのです。

印刷道では、これからの姿を6類型に分類し提示しています。このいずれかにぴったりと当

てはまるというより、複合的な組み合わせが、自社に合った姿になるのではないかと思います。また今回の印刷道では具体的なビジネスモデルを紹介することで、より理解を深めて自社への行動をしやすくしています。

しかしこうした事例を「その会社のことだから」と思っているだけでは解決策はありません。自社にぴったりと合うような夢の解決策はないのです。どの企業も長い時間をかけ、試行錯誤を繰り返して今の姿があります。変革する特効薬などなく、あきらめず時間をかけることが必要であり、文字通り「継続は力なり」を具現化することが成功への近道なのです。

当日は200名近くの方に参加をいただき、用意した冊子も予想を上回る売れ行きでした。参加者の真剣なまなざしに珍しく口が渇き、背中に汗をかきながらの講演でした。ピンと空気が張ったような錯覚を感じた会場、それだけ今回の印刷道への期待と企業が抱える将来への大きな危機感の表れだと思います。

ぜひ社員の方とこの冊子を手にとってください。皆様の会社の今後にぜひ役立ててください。情報はインプットだけでなくアウトプットをして初めて生きるもの。まずは一步を踏み出してみましょ。生き残りへの手段は「動いたもの勝ち」です。

愛知県印刷技能検定使用機種

OLIVER 466SD

菊半裁4色印刷機

LED-UV搭載可能

最高印刷速度16,100回転

高品位印刷を実現する倍径圧胴、
逆の字調配列を採用した
正菊半サイズの省スペース機



大好評! オリバー-SD/SDPシリーズ 菊半裁・四半裁・菊全判の3機種

印刷の未来を切り拓くことにも貢献の機会を創出します

Sakurai

株式会社 桜井クラフティングシステムズ
http://www.sakurai-gs.co.jp

本社
〒135-0032 東京都江東区堀江2-2-0
TEL: (03) 3643-1131 (F) FAX: (03) 3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL: (0575) 35-2551 (F) FAX: (0575) 35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区東川原3-1-31
TEL: (06) 6308-6651 (F) FAX: (06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡市中央区天神5-5-8
TEL: (092) 741-2672 (F) FAX: (092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL: (0575) 33-1260 (F) FAX: (0575) 33-3146



■平成26年「午年」を祝う

印刷及び関連業界から300名が参加



印刷と関連業界新年互礼会



挨拶する木野瀬理事長

■愛印工・印刷と関連業界新年互礼会

**「6類型をしっかりと把握し、
印刷道の歩みを！」**（木野瀬理事長）

鳥原副理事長が「印刷道」の記念講演

愛知県印刷工業組合（木野瀬吉孝理事長）主催、愛知県印刷産業団体連絡会協賛の平成26年新春・印刷と関連業界新年互礼会が1月10日名古屋東急ホテルで開催されました。印刷及び関連業界から300名が出席しました。

主催者挨拶の中で木野瀬理事長は、「産業成長戦略ビジョン『印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深化～』で6類型を発表しました。経営者は志を持ち、しっかりと印刷道を歩

めば、困難な課題にも立ち向かうことができる」と力強く抱負を述べました。

席上、昨年秋の褒章で黄綬褒章を受章した高井昭弘前理事長に、祝金が木野瀬理事長より贈呈されました。

会に先立ち、午後3時30分から記念講演会「印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深化～」が、全印工連産業戦略デザイン室委員、愛印工副理事長の鳥原久資氏を講師に行われました。

新年互礼会は鈴木正副理事長の司会で、細井俊男副理事長が開会の辞を述べた後、主催者を代表し木野瀬理事長が次のように挨拶しました。

冒頭、木野瀬理事長は「今日のNHKニュースで、皇居で講書始の儀があり、天皇、皇后両陛下の前で各界の著名人が講義をすることが報じられていました。その一番手に西洋歴史家であり印刷博物館館長

の樺山絃一先生が『歴史としての印刷文化』と題し、印刷について話をされた。先生は印刷の歴史が変わったことを話されていました。それを聞き、驚きと同時に何か誇らしげな気持ちになりました」と前置きし、印刷業界の現状に話を移しました。

「我々は印刷通販の進出により脅威にさらされています。しかし、記念講演を聴いていて、恐れるに

足りない、という感じを抱きました。我々は今日まで、技術を磨き設備投資をし、同じような製品、同じような印刷物を作り続けて、それをただひたすらに安く提供するだけの競争に明け暮れてきました。それをコモディティ（均質）といいますが、このコモディティ化を繰り返していただければ我々の将来はありえません。しかし、本日の講演にあったように、6タイプのビジネスモデルを把握し、しっかりと印刷道を歩めば、もっと深いところに我々の財産は眠っているのではないかと、そんなことを感じました」と指摘。

さらに、「我々は経営者であり、まだまだ沢山やるべきことがあります。本日ここにお集まりの印刷関連業界の方々の協力を得、また、同業者とのコラボレーションがなされれば、良いサービス、良い製品が提供でき、良い結果を残せるのではないかと思います」と抱負を述べました。

最後に、「嬉しい報告をします。昨年の秋の褒章で前理事長の高井さんが黄綬褒章を受章されました」と紹介しました。

次いで、来賓祝辞に移り、中部経済産業局産業部流通・サービス産業課林正実課長、愛知県産業労働部説田一成次長が祝辞を述べました。その中で、林課長は「日本に観光に来る外国人が一千万人を越えました。今後も増え続けるでしょう。となると、いろいろな情報媒体が必要になります。例えば、サインや印刷物です。そうした状況を踏まえ、単に印刷物を提供するだけでなくコンサルティングまで行なうことで、印刷業界にもビジネスチャンスが広がってくると思います」と指摘しました。

また、説田次長は、「愛知県は日本一の産業圏です。県としては今後も、中小企業のお役に立つ



歓談に華が咲いた懇親会

いような施策を講じていきたい」と県の中小企業対策を紹介しました。

続いて、高井前昭弘前理事長が黄綬褒章を受章したことを祝い、木野瀬理事長より祝金が贈呈されました。これを受けて高井前理事長は、「36歳で創業以来印刷一筋に取り組んできました。社会やお客様のお役に立つ印刷物を作る、社員及び仲間、協力いただいた方々が幸せになるようにと言い続けてきました。その結果が今回の受章に繋がったのではないかと考えています。天皇陛下に拝謁したおり、『健康に留意し、産業界のため業界のために頑張ってください』とのお言葉をいただいたが、身を引くべきか、頑張るべきか正直迷っています」と心境を披露。その上で、全印工連産業戦略デザイン室アドバイザーとして、「印刷道」発刊に携わったことに触れ、「サービスという言葉が使われていますが、サービスを単なるサービスで終わらせてはいけません。無償サービスに対価をいただけるようビジネス化を考えるべきです。産業戦略デザイン室の今後の宿題とするようお願いしたい」と注文を付け謝辞としました。

日本印刷技術協会相馬謙一専務理事の乾杯の音頭



お礼の言葉を述べる高井氏



名古屋而立会が「PrintNext2014」をアピール

で祝宴に入り、情報交換と和気藹々の懇談が続きま
した。途中、名古屋而立会メンバーが登壇し2月15
日名古屋のウインクあいちで開催される青年印刷人
のイベント「PrintNext2014」への参加と協力を呼
掛けました。

その後、岡田邦義副理事長の中締めで終宴しまし
た。



記念講演で鳥原副理事長講師を務める

「印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深化～」

成長へ向けた将来ビジョン、6類型を解説

印刷と関連業界新年互礼会に先がけ、「記念講演会」が
15時30分より、名古屋東急ホテル「バロックの間」におい
て開催された。

講演は、「印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深
化～」と題し、鳥原久資氏（全日本印刷工業組合連合会産業
戦略デザイン室委員／愛印工副理事長）が講師を務めた。全
印工連が発行した冊子「印刷道～ソリューション・プロバイ
ダーへの深化～」を紐解きながら、印刷産業成長へ向けた将
来ビジョン、そして、成長を果たすための進むべき方向性、
その手段としての6類型が解説された。

中でも、2020年へ向けての飛躍では、印刷関連サービ
スの幅の拡大（ワンストップサービス）から印刷関連以外
の業務受託まで引き受けるPSP（プリントサービスプロバ
イダー）、さらに、最適なサービスの組み合わせをソリュー
ションとして必要に応じて提供するMSP（マーケティング
サービスプロバイダー）への進化が示された。

また、ソリューション・プロバイダーへのステップとして、
ステップ①「現在のドメイン（強み）の分析」、ステップ
②「内外の環境変化を整理」、ステップ③「新ドメインの再
定義、6類型の選択」、ステップ④「具体的ソリューション
（手法）の選択」、ステップ⑤「行動計画と実践」が挙げら
れた。

全印工連

「『印刷道』

～ソリューション・プロバイダー への深化～」発行

全日本印刷工業組合連合会（島村博之会長、通称：
全印工連）では、平成22年秋に発行した「産業成長戦
略提言2010『ソリューション・プロバイダーへの進
化』」の改訂版となる「『印刷道』～ソリューション・
プロバイダーへの深化～」を発行した。本冊子には、印
刷業が進化し得る戦略方向性を典型的と考えられる6つ
の類型によって示したもの（ソリューション・プロバイ
ダーの6類型）が収録されており、各社の強みを活かし
た戦略を立てることが可能となっている。

－冊子の特徴と活用方法について－

冊子では、現在から2020年までの印刷産業の将来像
を予測し、その予測に基づいて、今後の中小印刷事業者
が経営を存続し、また、発展するための方向性を解説し
ている。

印刷業は製造業であり、情報産業であり、かつ、サー
ビス業である。製造業を極める道も勿論あるが、各社
の強みを活かして、情報産業やサービス業の機能を高め、
「印刷」の前後に領域を伸ばしていく道もある。本冊子
では、進むべき方向性として6つの類型を示している。

情報通信技術の発展によって、人々のコミュニケー
ション手段は飛躍的に選択肢が増えた。紙媒体を中心
とする印刷産業は厳しい局面に立たされている。しかし、
手段が多様化したために伝えたいものが伝えたい人に
“伝わらない”という現象が顕著になってきた。このよ
うな状況は逆に印刷業界にとって好機と捉えるべきであ
る。なぜなら、多くの人々が“伝わらない”と悩み、“伝
えたい”と願っているならば、それはニーズであり、印
刷産業が永年培ってきたノウハウ、すなわち、ソフト面
もハード面も含めて、コンテンツを分かりやすく、伝わり
やすく加工するという技術を活用できるチャンスだから
である。

企業や生活者は、情報伝達に常に最適なメディアを求
め続けている。その姿勢は今後さらに高まることが予
想される。顧客が情報伝達の最適化を図るために、印刷
会社がどのような提案ができるか、といった機能を求め
てくるはずである。このような顧客への要求に応えられる
のが、印刷業の新しいカタチとなるソリューション・
プロバイダーへの道である。ソリューション・プロバイ
ダーの視点で、印刷を軸としたワンストップサービスを
追及し、組合員各社に合う業態を構築し、再成長を果た
すための一助に活用していただきたい。

－ソリューション・プロバイダーの6類型－

(1)地域活性プロモーター

印刷業は地方において、情報・文化のハブとして頼り

ソリューション・プロバイダーの6類型を収録、 経営戦略立案に最適

にされている場合が多い。地域固有の文化・風俗・習慣などを熟知している利点を活かし、多種多様なメディアや付帯サービスを組み合わせ、地域の活性化や成長を地域ぐるみで実現するための「まとめ役」的な存在を担う。

(2)特定機能プロバイダー

「販促」「イベント」「広報」「リクルート」「顧客データ管理」など、業種や業界に特定されず多くの企業や組織に必要な“特定の機能”を、最適なメディアと付帯サービスを組み合わせ、高い専門性で提供していく。

(3)特定業界スペシャリスト

特定の業種・業界の製品、ビジネス、あるいは、業務プロセスを熟知し、顧客と同等の立ち位置から課題解決に努め、最適なメディアや付帯サービスの選択と活用を提案・提供する。(2)と(3)を組み合わせ、特定業界の特定機能に絞ったBPO(BUSINESS PROCESS OUTSOURCING)の展開も考えられる。

(4)メディアプロダクトメーカー

印刷業を含む多種多様なメディアを自らもリスクを負い、商品として自他のチャンネルで販売する。キャラクターグッズ、ステーショナリーなどの紙製品、トランプ・トレーディングカード、フリーペーパー、出版、電子出版など、デジタル印刷の活用により小ロット多品種の展開も可能である。

(5)パーソナルメディアショップ

個人や商品ユースに対応する「プリントショップ」の発展形。パーソナライズされた印刷物、ギフト、その他多様なメディア関連商品を扱い、同時に利用者によるコミュニティの提供など、同じ価値観を持つ人達の新たなコミュニケーションハブとしての可能性も期待される。

(6)印刷製造スペシャリスト



愛印工組会員
1冊2,500円(税込み)

印刷製造に特化し、卓越したコスト・品質・納期対応や、特殊加工などで付加価値を提供する。徹底した合理化と戦略的設備投資により、プリプレスからポストプレスまでのワンストップ対応で、印刷製造機能をリードする。日本企業のグローバル展開に同調した海外展開も期待される。

－体裁・内容・価格・申し込み方法－

体裁 A4版83頁

主な内容(目次) 印刷産業予測2020/印刷道～ソリューション・プロバイダーへの深化～/ソリューション・プロバイダーの6類型/研究報告(ステークホルダーダイアログ100年企業)/日本の成長戦略における印刷産業の位置付け/オープン・スペース・テクノロジー(OST)を実施して

価格 愛印工組会員1冊2,500円(税込み・送料別)、一般1冊10,000円(税込み・送料別)

※2月28日(休)までの申し込み分については、組員に限り「送料不要」

問い合わせ・申し込み先 愛知県印刷工業組合

〒461-0001名古屋市東区泉1-20-12メディアージュ 愛知1F TEL052-962-5771 FAX052-951-0569

※申込書は組合HPからDL <http://www.ai-in-ko.or.jp>

Axuas 私たちは、地球に優しい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。

次の世代に豊かな地球を残し、
皆様の幸せに貢献する企業でありたい。



紙・省材・LEDの
株式会社

AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号
販売営業本部 TEL052220 5511 伊吹部TEL0503533 5511 FAX052220 5522
Home Page <http://www.axuas.jp> E-mail info@axuas.jp





お礼の言葉を述べる高井昭弘氏



祝賀会会場 壇上で挨拶するのは木野瀬吉孝理事長

□高井昭弘氏：「黄綬褒章」受章祝賀会

栄誉を讃え喜びを分かち合った祝賀会

「独自の経営哲学と戦略による経営手腕」を賞賛

昨年、秋の褒章で「黄綬褒章」を受章した高井昭弘氏（元愛知県印刷工業組合理事長、プリ・テック㈱取締役会長）の受章祝賀会が、1月25日午前11時より名古屋観光ホテル「那古の間」において開催された。印刷関連業界、西尾ライオンズクラブ、友人ら約150名が出席、その栄誉を祝った。祝賀会発起人には、代表に木野瀬吉孝愛知県印刷工業組合理事長、大隅修平西尾ライオンズクラブ会長、山田正行㈱中京医薬品社長の3氏が務めた。

祝賀会は、開会の言葉を西尾ライオンズクラブ大隅会長が述べた後、発起人を代表して木野瀬愛印工理事長が挨拶。

「印刷業界を長年にわたり牽引してこられた高井昭弘さんが黄綬褒章を受章されました。その栄誉を称え本日祝賀会を開催させていただきました」と前置きし、「高井さんは、昭和54年7月に西尾中央印刷㈱（現：プリ・テック㈱）を創業され、以来35年間赤字を出されていません。その間、プリテックメディア㈱を設立、トーヨー印刷㈱、半田中央印刷㈱、サトウ印書館㈱をM&Aにより傘下に収められ、それらの会社も初年度から黒字化されている。我々にとっては神様のような人です。それには理由があるからです。独特の経営

哲学を持ち、きちんと分析をされ戦略を立て、そして、社員を幸せにする、これを徹底されています」。

また、愛知県印刷工業組合の会館新築に触れ、「以前の印刷会館にはいろいろなしがらみがあり、新しく会館を建て直そうにも非常に困難な問題が山積していました。これを元理事長の白井紘一さんと見事に解決された。一昨年2月、メディアージュ愛知として印刷会館が竣工しました。高井さんの力なくしてはできなかったことだと思います」と、その業績を讃えた。さらに、全日本印刷工業組合連合会では「財政健全化に取り組み、それも見事に成し遂げられました」と紹介。そして、「もっとも力を入れてこられたのが教育です」とした上で、愛印工での新人社員研修や次世代経営者に対し、「高井さんは、経営の根本である利益を生み出す術を、自ら積み上げた知識を基に惜しげもなく提供され、その姿に多くの若手経営者は感動し勇気を与えられました。今後この教えを、私も含めて後輩たちがどのように育てていくか、それは私たちの責務であると感じています」と述べ、最後に、「今年、高井さんは年男です。これからも健康に留意され、業界発展のために更なるご指導をお願いします」と結んだ。



Giving Shape to Ideas

コニカミノルタに全てお任せください。

自 保 正



Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

デジタル印刷



Folbaird AQUA

環境対応のフラット

ケミカルレスCTPシステム



bizhub PRESS C7000

BLUE EARTH



コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 PPG営業社 今般東部 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-15 三井住友海上ビル5階506C&11F TEL. 052-229-4624(代)

続いて祝辞に移り、3氏がお祝いの言葉を贈った。

全日本印刷工業組合連合会島村博之会長は、「高井先輩からはいろいろなことを学ばせていただきました。これからは業界から少し離られるかと思いますが、まだまだ教を請うことが山ほどあります。今後とも、業界活性化のためにご活躍されることを願っております」。

榊原純夫半田市長は、「高井さんは創業当時から小さくても一流の企業に、社会に役立つことで社員が幸せになる、という明確なビジョンを持ち、そして、持ち前の行動力と高い先見性により、着々と実践、実現をされてみえました。“理想を持たないために滅びた民族はあるが、理想を持ったために滅びた民族はない”といわれるように、物事を成し遂げるには、理想を持つことが必要です。それは企業の経営、自治体経営におきましても、しっかりとしたビジョンを描くことが大事と改めて認識をさせていただいたところです」。

西尾信用金庫近藤実理事長は「高井さんの今回の受章は、印刷産業への貢献であると同時に、地元への貢献でもあったと思います。清掃活動や月1回『文化の森』の発行で地域の情報の提供をされています。これからも、明るい街づくりのために、ご活躍されることを望んでおります」。

祝電披露の後、記念品、花束贈呈に移り、木野瀬理事長より記念品が、また、4名のお孫さんより高井ご夫妻に花束贈呈が行われた。

続いて、受章者謝辞に移り高井氏がお礼の言葉を述べた。「こんな大勢の方に祝福され大変幸せだと思っております。振り返ってみますと、親父が、人様に後ろ指をさされるよう



お孫さんから花束を受けた高井ご夫妻

●身近な催し物のお知らせ(愛印工組関係)

開催日時	事業・行事、場所、備考
2月21日(金) 10:00～ 12:00	事業名 〔愛知県版〕ゼロから始める“見える化”セミナー ところ ウィンクあいち 1101会議室 参加費:組合員3,000円、一般5,000円 定員:70名 申込期日:2月13日 定員に達し次第締め切り
2月22日(土) 9:30～ 11:30	事業名 全印工連Webポータルシステム研究会報告「Web活用が変える営業・制作フロー」 ところ ウィンクあいち 1102会議室 参加費:組合員3,000円・一般6,000円 定員:70名 申込期日:2月13日(水) 申込期日前でも、定員に達し次第締め切り
2月25日(火) 19:00～ 20:30	事業名 第2回マーケティングセミナー “豊陽、印刷機捨てたんだってよ” ところ メディアージュ愛知 3階 大会議室 参加費:組合員2,000円・2人目から1,000円、一般2,000円 定員:40名 申込期日:2月10日 定員に達し次第締め切り
3月6日(木) 18:30～ 20:00	事業名 第2回経営セミナー「未来を破壊する」を読み解く～印刷業をとりまく最新動向から営業のヒントを掴む～ ところ ウィンクあいち 1202会議室 参加費:組合員4,000円、2人目から3,000円、一般6,000円 定員:60名 申込期日:2月21日定員に達し次第締め切り
4月2日(水) ～9月5日(金)	事業名 印刷会社の新入社員研修 愛知県印刷工業組合ホームページでご確認ください。申込期日:随時

●身近な催し物のお知らせ(関連団体)

開催日時	事業・行事、場所、備考
2月21日(金) 13:00～19:30	事業名 中部地区印刷協議会「平成25年度下期会議」 ところ 名古屋市市中村区「キャッスルプラザ」
2月27日(木) 13:00～ 16:45	事業名 印刷学会中部支部 冬季印刷セミナー 「新しいスキルと新しい印刷展開を創る」 ところ 名古屋市工業研究所 電子技術総合センター1階「視聴覚室」 会費:5,000円(会員及び共済団体会員)定員:60名

な人にはなるな、皆さんに役に立つ人間になれ、喜んでいただけることをしろ、などとよく言っていました。その言葉が私の経営哲学、経営理念になっていると思います。現在、一線を引きつつありますが、先日も社員が20年、30年というローンで住宅を買っております。彼たちは今の収入をベースにしてお金を借りています。20年、30年、最低限今の収入が得られるような安定した会社を作っていかなければならないと、ひしひしと感じております。いずれにしましても、社員の幸せが得られる会社であり、幸せな社会である、そんな時代が長く続くことを祈りながら、少しずつお手伝いをさせていただきたいと思います」とお礼の言葉を述べた。

乾杯を水上印刷(株)水上光啓社長が行い祝宴に。和気藹々の歓談が続き、宴半ばで、友人代表の(株)中京医薬品山田正行社長が閉会の言葉を述べ終宴した。

TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社

中部支社 〒460-0002 名古屋市中央区丸の内1-15-20 ie丸の内ビルディング12F Tel:052-218-7460

www.toyoink.co.jp

印刷産業機械の安定稼働のために 「定期メンテナンスのおすすめ」 ガイドブック作成し情報提供



一般社団法人日本印刷産業機械工業会（宮腰巖会長）では、設備の定期メンテナンスに関する情報提供に尽力しており、この程、その一環として『定期メンテナンスのおすすめ～印刷産業機械の安定稼働のために～』と題したガイドブックを作成した。

日印機工では、「印刷工場で使用している製版機器、印刷機、製本機械、紙工機械、その他の周辺機器などの生産設備は、その安定稼働が経営に直結する重要課題であり、安定かつ安全に稼働させ、性能を十分に発揮させるためには、日常の定期的なメンテナンス、保守点検とそれに伴う部品交換や調整が不可欠です。安全にかつ支障なく稼働させ、その性能を十分に発揮させるには、日常の定期メンテナンス、保守点検とそれに伴う部品交換や調整が不可欠です。

しかし、定期メンテナンスと『壊れる前の修理（予防保全修理）』の重要性は理解していても、目先の経費削減を優先し、『壊れたら直せば良い』という考えで定期メンテナンス費用を削り、経営全体では大きなマイナスになっている例も少なくないと思われる。

コスト削減、危機管理、顧客の信頼確保など、印刷会社の経営に関わる重要性を持つ『定期メンテナンス』の必要性を理解いただきたいために作成しました」と、定期メンテナンスの重要性を説いている。

—ガイドブックの内容—

(1)機械の寿命・故障・修理／機械は必ず壊れます、定期メンテナンスと突発故障修理

(2)定期メンテナンス・メーカー保守契約のおすすめ／機械の安定稼働のために、定期メンテナンスの内容、保守点検要領・点検フォーマット、お客様へのお願い

(3)耐用年数

(4)保守・点検作業に関連する法令、指針、規則

(5)保証とメンテナンス料金

ガイドブックからその内容の一部を紹介。日常業務に活用していただきたい。

■機械のライフサイクル

□機械の寿命：機械には寿命があります。計画的な機械の『買い替え』が必要です。

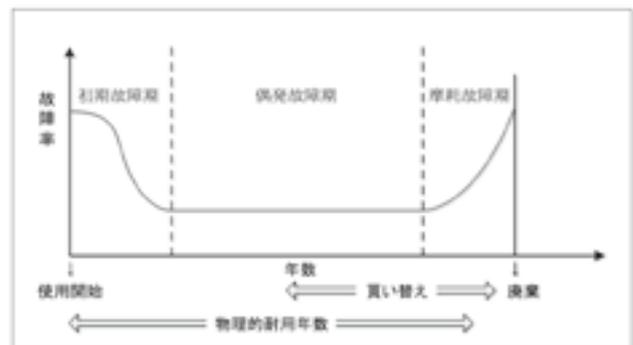
きちんとしたメンテナンスを続け、オーバーホールをして機械には一定の寿命があります。信頼性工学の中で、製品の故障率について経時変化は故障率曲線（バスタブカーブ）

と呼ばれる形を取り、一定の年数を経過すると故障率が上がってくるのが知られています。機械が壊れていくことは避けがたい事実であり、定期的なメンテナンスによって機械の寿命を延ばすとともに、計画的な機械の「買い替え」が必要です。

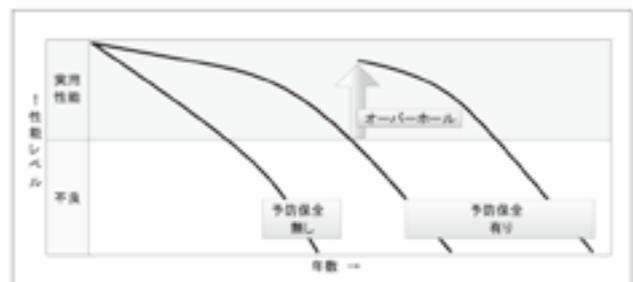
□機器の性能レベルと使用年数：設備更新計画立案の際にはオーバーホールも選択肢の一つです。ただし、新品の性能レベルには戻りません。

定期メンテナンスによる予防保全を適切に行なうことは、突発的な故障を防止するとともに、製品の品質低下を防ぐことにもなり、機械全体の劣化速度をゆるやかにします。しかし、費用との関連で、通常の定期メンテナンスには、劣化した部品の全交換（いわゆるオーバーホール）までは含まれていないのが一般的です。

お客様は、一定の期間が経過した段階で、メーカーにはオーバーホールを依頼することにより故障の頻度を下げ、一定レベル以上の製品を安定生産できる期間を長くすることが可能となります。「買い替え」の投資計画と同様に、オーバーホールについても投資計画の中に組み込むことも選択肢



システムの故障率の推移（概念図）



性能レベルと使用年数（概念図）



コスト比較(上)
保守・保全業務の体系(下)

一般社団法人日本印刷産業機械工業会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館
TEL03(3434)4661 FAX03(3434)0301



の一つです。

■定期メンテナンスとメーカーの保守契約

□コストとリスク：定期メンテナンスはコスト削減と経営リスク削減に直結。定期メンテナンスで突発故障を予防し、故障時のコストと経営リスクを大幅に減らすことが可能になります。修理コストだけではなく、トータルコストで考える必要があります。

突発故障による機械の停止は、修理コストの発生だけではなく、機械停止中の「人件費の無駄」、「生産停止に伴う失注」、納期遅れによる「信用の失墜」などの経営リスクの増大に繋がります。修理コストだけを見ると、定期メンテナンスではまだ壊れていない部品の交換なども含むため、高いと感じるかもしれません。しかし、トータルコストで考えれば、定期メンテナンスで予防保全修理をしておいたほうが圧倒的に安く済むといえます。

□定期メンテナンス：印刷機など一定規模以上の生産機械の予防保全は、『お客様保守』、『定期メンテナンス』、『オーバーホール』の3つの柱で成り立っています。お客様による日常のメンテナンスは機械の安定稼働の基本です。また、メーカーからの定期メンテナンスも必要です。さらに、買い替え計画と同様に、オーバーホール計画も事業投資計画に入れる必要があります。

お客様がやるべき「清掃・確認」、「給油」などについて定期点検改革を作成し、遅滞なく確実に実施しチェック表などで実施状況をチェックする仕組みが必要になります。

□保守点検要領・点検フォーマット：機械の性能を十分に発揮していただくためには、日頃からの点検整備が欠かせません。機械の性能維持と運転中の事故防止のため、定期的な保守点検を必ず行なって下さい。

保守点検にあたって使用する保守点検要領と点検フォーマット(チェックシート)は、機械ごとに作業予定を入れておき、実施のつど担当者がチェックを入れ、管理者が実施状況を確認することが必要です。チェックシートは誰でも無理なく運用できる「自社のレベルにあったチェックシート」を作成するのが大事です。

■耐用年数と保証期間

□耐用年数 「投資判断は、法定耐用年数や物理的耐用年数のみではなく、社会的耐用年数(新機種 of 普及で陳腐化)

保守・点検要領

機械の性能を十分に発揮するには、日頃からの点検整備が欠かせない。機械の性能維持と運転中の事故防止のため、定期的な保守点検を必ず行なう。

オペレータが行なう保守・点検作業は、インキ・給水ローラの調整、給油など、操作説明書に記載されている項目である。それ以外の保守・点検作業はメーカーの認定を受けたサービスマンが行なう。

〈注1〉日常点検のポイント

- 振動…異常な振動はないか？
- 騒音…いつもより騒音は高くないか？ 周期的な異常音は発生していないか？
- 温度…フレームに触れて、いつもより温度は高くないか？

〈注2〉異常音や振動、臭気気づいた場合は、直ちに本機を停止し電源をOFFにする。そのままの状態で長時間の運転を続けると、装置の性能を著しく損ねる場合がある。

をベースに考えることをおすすめします」。

耐用年数には、①法廷耐用年数/税法で定められた減価償却期間、②社会的耐用年数/新機種が普及し、機能・性能が陳腐化するまでの期間、③経済的耐用年数/故障率が著しく増大し、修理費用が増大し、経済的に引き合わなくなるまでの期間、④物理的耐用年数/機器を構成する主要な部材(素材)などの磨耗・結果が進み、実質的に修理ができなくなるまでの期間があります。

□メンテナンス料金 「移動にも費用が発生します。メンテナンス料金については、修理作業時間の人件費と部品代だけでなく、移動時間を含めた料金がかかるのが一般的です」。

メンテナンス料金の構成例は、①移動費(最初の30分や1時間の基本作業料金)、②作業費(休日・深夜などは割り増しになる)、③部品代、④移動費(移動時間中の人件費、距離や時間などで規定)、⑤交通費・宿泊費などからなります。

簡単に直る不具合で、実際の作業時間が極めて短かったり、作業らしい作業がなかった場合でも、依頼先に行くまでの移動時間分の人件費がかかっていますので、初動費などの形で請求されるのが一般的です。

保守・点検要領（例）

点検時期	ユニット	装置・部品	保守点検項目	点検要領	対処
運転前	機械全体	レギュレータ	空気圧	ゲージを目視確認	調整
		コンプレッサ	圧力計・安全弁・圧力開閉器	取扱説明書による	作動確認
	印刷	湿し水冷却装置	湿し水の量と水質	目視確認 試料検査	補充 調整
		湿し水冷却装置	目液の量と濃度	目視確認 濃度計	補充 調整
		ローラ冷却装置	冷却水の量と質	目視確認	補充 調整
		給水ローラ	傷や汚れ	目視確認	清掃 交換
	UV	インキ洗浄舟	廃液の量	目視確認	廃棄
ダクトホース		損傷はないか	目視点検		
ランプハウス内	断紙、異物がないか	フードを開けて目視点検			
運転中	機械全体		振動・騒音・温度	<注1>	<注2>
終業時	機械全体		油・エア漏れ	周囲を一回りして確認	補修
		フィルタレギュレータ	ドレン	目視確認	点検 排出
		コンプレッサ	ドレン	取扱説明書による	排出
毎週	機械全体	給油ポンプ	オイルの量と圧力	ゲージを目視確認	補充
		原動ギヤボックス	オイルの量	ゲージを目視確認	不足なら補充
		廃油受け	廃油の量	目視確認	廃棄
		ゴムコロ	汚れ・摩耗	目視確認 触手点検	清掃 圧調整
	印刷	湿し水冷却装置	水槽内の点検 湿し水と水槽の汚れ	目視確認	清掃 交換
		湿し水冷却装置	バッグフィルター	目視確認（隔週）	水洗い・交換
		着ローラ	ニップ圧	取扱説明書による	調整
		ベアラワイパー	汚れ・摩耗	目視確認 触手点検	給油 交換
		インキ洗浄ブレード	汚れ・摩耗	目視確認 触手点検	清掃 交換
		インキミスト吸い込み装置	フィルター	目視確認	清掃
	UV	反射板とランプ	表面の汚れ、損傷	清掃	アルコールで拭く 交換
	加工・シートバイル	除電バー	電極針の汚れ	取扱説明書による（隔週）	清掃 交換
	制御盤	吸気ファン	フィルター	制御盤表貼付の取扱説明書による	フィルターの清掃及び交換
1ヶ月	機械全体	給油ラベル	給油	取扱説明書による	グリスアップ
		コンプレッサ	フィルターの汚れ、目詰まり	取扱説明書による（2ヶ月毎）	清掃
	給紙	紙粉除去装置	集塵タンク内のフィルター	取り外して清掃	エアブロー
	印刷	インキローラ	摩耗・傷	目視確認	交換
		インキローラ	ニップ圧	取扱説明書による	調整
インキ着ローラ		ベアリングの回転状態	手で回してみる		
1ヶ月（統）	印刷（統）	給水装置	水舟の汚れ	目視確認	清掃
		湿し水/ローラ冷却装置	水槽内の清掃	目視確認	清掃
		湿し水装置	アルコマイザー pHコントローラー	取扱説明書による	清掃
	UV	ランプハウス	反射板の変形、ネジの緩み	目視確認 触手点検	調整、増し締め
		電源	採風孔の詰まり、ファン動作	目視確認	清掃 交換
	コンベア	コンベアベルト	張り具合 摩耗・傷	目視確認 指で押す	調整 交換
	シートバイル	ドライポンプ	フィルターの汚れ	取扱説明書による	エアブロー
ドライポンプ		冷却フィン、ファン	取扱説明書による	エアブロー	
3ヶ月	機械全体	ガイドローラ	表面の汚れ	目視点検	清掃
		ゴムコロ	回転状態	手で回してみる	交換
	印刷	インキ線ローラ	ベアリングの回転状態	手で回してみる	
1年	機械全体	原動ギヤボックス	オイル交換		交換
		左右移動ハンドル ノブなど手動操作部	動作・ガタ	手で動かしてみる	給油 調整
	印刷	交換潤台車	作動油交換	取扱説明書による	交換
	シート	ドライポンプ	カーボン羽根	取扱説明書による	幅測定、交換
	UV	電源・排風機、配線	異音・振動 汚れなど	触手点検 目視点検	修理、交換



一般の部「(株)長英/患者保護シート」



学生の部「常葉大学・篠原今日子さん
/心のコミュニケーションアクセサリ」

□全印工連

「第7回MUDコンペティション」入賞作品発表

経済産業大臣賞 一般の部「(株)長英/患者保護シート」

学生の部「常葉大学・篠原今日子さん/心のコミュニケーションアクセサリ」

全日本印刷工業組合連合会（全印工連、島村博之会長）の第7回メディア・ユニバーサルデザイン（MUD）コンペティションの審査が昨年12月13日行なわれ、応募総数333点（一般99点、学生234点）の中から、経済産業大臣賞に一般の部では(株)長英・印刷事業部製版課生産グループプリプレスチームの「患者保護シート」（東京都）、学生の部では常葉大学篠原恭子さんの「心のコミュニケーションアクセサリ」（静岡県）が選ばれた。

入賞作品は以下の通り。（敬称略）

【経済産業大臣賞】

▼一般の部＝(株)長英/印刷事業部製版課生産グループプリプレスチーム「患者保護シート」（東京都）

▼学生の部＝常葉大学/篠原今日子「心のコミュニケーションアクセサリとストラップ」

【優秀賞】

▼一般の部＝三和総合印刷(株)/村上寛樹「ユニバーサルファイル」（広島県）

(株)野毛印刷所/制作課制作係「外国旅行者のための英語版地震対策マニュアル」（神奈川県）、不二印刷(株)/永井佑佳、中山卓哉、大蔵有紀「シュワットカード」（大阪府）

▼学生の部＝常葉大学/篠原今日子「つながるカード」（静岡県）

静岡デザイン専門学校/小林浩二 鞠江「時刻表をもっと見

やすく、分かりやすく!」（静岡県）、芝浦工業大学/牧野貴大「MUD色紙」（埼玉県）

【佳作】

▼一般の部＝大阪シーリング印刷(株)/中嶋健一郎、村中くみ子、宮西麻紀、永田一成、佐藤由美、大町瑞穂「分かりやすいお風呂のマナー」（大阪府）

大阪シーリング印刷(株)/河澄香菜子、富田美奈子、池田恒、籠谷昌典、町田愛子、坂本綾香「安全に遊べる花火のパッケージ」（大阪府）、(株)垂井日之出印刷所/清水健一、馬淵智美「使えるピクトグラムシールブック」（岐阜県）、ベル印刷工業(株)/鈴木敏「エコエコ3ヵ月カレンダー」（静岡県）、川口印刷工業(株)/浅沼秀悦、神山仁、細川真、谷地武留、帷子修、吉田知恵（株）トランク「障害がある方たちの災害対策のてびき」（岩手県）、川口印刷工業(株)/黒丸健一「見分けやすい回転すしの皿の提案」（岩手県）

▼学生の部＝大阪市立デザイン教育研究所/池田有花「性犯罪防止広報リーフレット～女性ファッション雑誌風～」（大阪府）、沼津情報ビジネス・専門学校/高木美穂「色で測るカラーステッカー」（静岡県）、沼津情報ビジネス・専門学校/杉澤彩「思いやりポスター」（静岡県）、芝浦工業大学/比江島彬「Recocube」（埼玉県）、芝浦工業大学/竹谷友希「Sencil」（埼玉県）、山口芸術短期大学/曾田夏末「防災システム手帳」（山口県）

紙でご愛顧65年

印刷用紙専門商社

メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市東区主税町4-63 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL.(0566) 28-2049

カラーもモノクロもページもの印刷得意です

◎厚紙印刷菊全4色0.8mmまで可
◎PP貼のみの仕事引き受けます

データから印刷・製本・発送まで自社一貫体制

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代) ☎
FAX0564-62-8463

■小規模企業者対象の設備投資助成制度

「名古屋市小規模企業者設備投資促進補助金」

補助限度額は300万円以内／9月30日まで受付

名古屋市民経済局産業部産業労働課では、小規模企業者を対象とした設備投資助成制度「名古屋市小規模企業者設備投資促進補助金」の受付を行なっている。今回の募集は、平成26年以内に機械・設備などを導入される小規模企業者を対象としている。

【補助制度の概要】

□補助対象者 ①中小企業基本法に定める小規模事業者（従業員20人以下、商業・サービス業は5人以下）の企業または個人、②市内に本店を有すること、③市内で継続して10年以上事業を営んでいること、④55歳を超える場合は後継者がいること、⑤税を納税していること、⑥その他など。

□補助対象設備 ①固定資産税の対象となる償却資産のうち、構築物（第1種）、機械及び装置（第2種）、工具、器具及び備品（第6種）に定められる機械・設備などであること（※車両及び運搬具（第5種）は対象外）、②本市の固定資産課税台帳（償却資産）に記載される機械・設備などで、取得価額が300万円以上であること、③環境に配慮した機械・設備であること、④中古品またはリース契約に

基づくものでないこと、⑤複数の事業者で共同所有するものでないこと、⑥建築確認など必要な法令が守られていること、⑦その他など。

□補助率・限度額 補助率＝補助対象経費の10%以内、補助限度額＝1企業・個人あたり300万円以内（※補助金の交付は、平成27年4月以降となる。また、募集予定枠に達した時点で、受付を終了）。

【事業計画の認定申請の受付】

設備を設置（取得）する前に、下記金融公社に事業計画の認定申請を行なわなければならない。

□受付場所 公益財団法人名古屋市小規模事業金融公社（名古屋市千種区吹上2-6-3名古屋市中小企業振興会館5F）TEL052-735-2123

□受付時間 午前9時～午後4時まで（土日祝日を除く月曜日～金曜日）

【問い合わせ先】

設備投資促進補助金の認定申請受付などについては上記金融公社に、全般については、市民経済局産業部産業労働課（産業企画係）TEL052-972-2412まで。



テープカット

賑わいを見せました。

併催されたコラボレーション展には、愛印工組員から、(株)大幸（アクアス）、(株)二和印刷紙業、プリ・テック(株)、(株)メイセイプリントの各社が出展しました。

また、新春セミナーも好評で、特に、淡路印刷(株)の真野貴司社長が講師を務めた「印刷会社の新規営業切り込み・支援ツール」のセミナーは、130名を超える聴講者がありました。

■編集日より

□平成26年新春・印刷と関連業界新年互礼会を無事終えることができました。印刷と関連業界から300名の多くの方々のお出席を得ました。新しい門出を祝うと共に、懇親と情報交換に華が咲き、和気藹々の輪が広がりました。

□まだまだ寒い日が続くと思いますが、この機関誌がお手元に届く頃は、立春も過ぎ春の足音が聞こえてくるでしょうが、ノロウイルスが流行の兆しを見せていますので、体調管理には万全を期してください。

■訃報

常川印刷(株)（常川知泰社長）の会長谷輝彦氏は、1月2日ご逝去されました。葬儀・告別式は1月5日、昭和区川名山町「香積院（こうじゃくいん）」において執り行われました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

■愛印工組後援

第50回光文堂「新春機材展」成功裡に閉幕、全国から7,600人が来場

愛知県印刷工業組合など9団体が後援する新春恒例の(株)光文堂主催による第50回「新春機材展」が1月22、23の両日名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）において開催されました。初日、9時半より

オープニングセレモニーが開かれ、光文堂讃岐秀昭社長の挨拶に続き、来賓を代表して木野瀬吉孝愛印工理事長らが祝辞を述べました。その後、テープカットが行なわれ2日間の展示会がオープンしました。116社320小間に内外の優秀機材が披露されました。

2日間、地元を始め北海道、東北、関東甲信越、静岡、関西、北陸、九州、沖縄などから1,930社7,600人が訪れ、大変な



あいの印刷

No.507

平成26年2月10日発行

発行人 木野瀬 吉孝

編集 組織・共済委員会

発行所 愛知県印刷工業組合

〒461-0001

名古屋市東区泉一丁目20番12号

メディアージュ愛知1階

TEL (052) 962-5771

FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp